

企業・団体の社会貢献、CSR等の取組

三井物産(株)は全国74か所に約44,000ヘクタールの社有林「三井物産の森」を保有、森とのかかわりは100年以上にもなります。

「三井物産の森」を公益性の高い資産であると位置付け、その公益的機能が十分発揮されるよう、持続可能な林業を通じて環境保全に取り組み、2009年12月にはFSC®森林認証を取得しています。

この森を積極的に活用するための取り組みとして、さまざまなステークホルダーを対象に、環境関連のNPOなどと協働しながら、全国7か所の三井物産の森で、楽しみながら自然や森、林業について学ぶ「森林環境プログラム」を展開しています。また、木質バイオマスエネルギーの活用などの新たな分野にもチャレンジしています。

三井物産は、これまでの100年、そしてこれからの100年を見つめて、三井物産の森を通じて社会や地域に貢献していきます。



京都モデルフォレスト活動としての取組

社会貢献活動の一環として、京都府および京都モデルフォレスト協会と、「森林の利用保全に関する協定」に2008年8月18日に調印しました。

2018年3月31日の協定期間終了まで、三井物産所有の清滝山林の一部(約19ヘクタール)を、間伐などの森林体験学習や、地域の皆さまの森づくり体験の場として活用して頂いたり、「大文字五山送り火」の薪や護摩木用としてのアカマツや、「鞍馬の火祭」の松明用としてのコバノミツバツツジを伐採、提供していきます。



モデルフォレスト活動への想い(感想、課題)

当社は京都府に約190ヘクタールの清滝山林を所有していますが、京都モデルフォレスト協会による、京都の森を守り育てる素晴らしい取り組み「京都モデルフォレスト運動」に大いに共感し、その活動に当社社有林が少しでもお役に立つのであればと考え2008年8月から10年間にわたり、同山林の一部を「京都モデルフォレスト運動」の活動場所の一つとしてご活用いただくことに賛同しました。

京都府民の皆さまの大切な財産である京都の森を守る活動のみならず、京都を代表する伝統行事に必要な薪や松明の材料を清滝山林内から確保することによって、伝統行事の伝承に協力していくなど、清滝山林を通じて、微力ながら地域貢献をさせていただければと思っています。

また、将来的には京都モデルフォレスト協会主催による森づくり体験活動に、当社社員も参加させていただき、地元の皆さまとの交流を図ることで、より一層の協力関係を築き、京都の森と伝統行事を次世代へ繋ぐ活動の一旦を担っていきたいと考えています。



環境・社会貢献部
社有林・環境基金室

斉藤 江美

活動データ

◆企業・団体

名称 三井物産株式会社
所在地 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1
電話 03-3285-6260
担当部署 環境・社会貢献部

◆協定

締結年月日 2008年8月18日
メンバー 三井物産株式会社
京都府
京都モデルフォレスト協会

◆活動フィールド

所在地 京都市右京区梅ヶ畑
面積 19ha

活動フィールド



京都市右京区梅ヶ畑

